

本製品はEIAJコードカラーに対応しています。

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外に取り付け方や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 1999

< 99D00F0Y01 > < CRA2729-A >

作業の進めかた

① はじめに

接続・取り付け部品を確認する — 2ページ
製品の配置を考える ————— 5ページ

② 接続する

接続の前に知ってほしいこと ——— 6ページ
接続端子のなまえと働き ————— 8ページ
システムの接続 ————— 10ページ
TVモニターの接続 (1) ————— 12ページ
「TV-W8000」
TVモニターの接続 (2) ————— 14ページ
「AVX-P7000W」
TVモニターの接続 (3) ————— 16ページ
「AVX-P7000CD」
TVモニターの接続 (4) ————— 18ページ
「他社のモニター」
電源コードの接続 (1) ————— 20ページ
電源コードの接続 (2) ————— 22ページ
VICS/FM多重アンテナの接続 — 24ページ

③ 取り付ける

取り付けの前に知ってほしいこと — 26ページ
ナビゲーション本体の取り付け — 27ページ
GPSアンテナの取り付け ————— 34ページ
リモコンの取り付け ————— 36ページ
マイクの取り付け ————— 38ページ
音声認識コントローラーの取り付け — 40ページ
受光部付きスピーカーの取り付け — 43ページ
携帯電話用ソフトケース
の取り付け ————— 44ページ

④ 接続・取り付けが終わったら

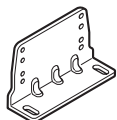
接続の確認と
センサーリセットを行う ————— 46ページ

接続・取り付け部品を確認する

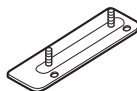
ナビゲーション本体関係



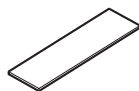
① ナビゲーション
本体 × 1



② 取付アングル × 2



③ 取付ベース × 2



④ 粘着テープ × 2



⑤ 蝶ナット
(6 mm) × 4



⑥ 座付きネジ
(4 × 8 mm) × 4



⑦ タッピングネジ
(6 × 16 mm) × 4

受光部付きスピーカー関係



⑧ 受光部付き
スピーカー × 1



⑨ 両面テープ
(45 × 30 mm) × 1

GPSアンテナ関係



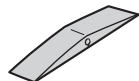
⑩ GPSアンテナ × 1



⑪ 金属シート × 1



⑫ クランパー × 5

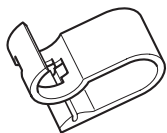


⑬ 防水パッド × 1

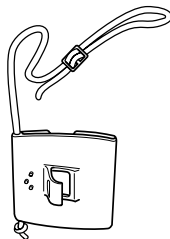
マイク関係



⑭ マイク × 1



⑮ マイククリップ
× 1



⑯ マイクホルダー
× 1



⑰ 両面テープ
(20 × 16 mm) × 1

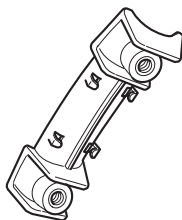


⑱ クランパー × 5

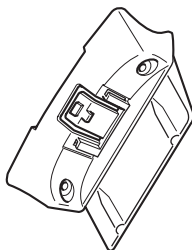
音声認識コントローラー関係



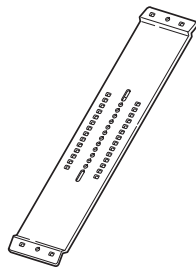
⑲ 音声認識
コントローラー × 1



⑳ インナーホルダー
× 1



㉑ アウターホルダー
× 1



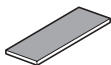
㉒ ベルト × 1



㉓ リチウム電池
(CR2032) × 1



㉔ 六角穴付きネジ
(3 × 6 mm) × 2



㉕ マジックテープ大
(やわらかい方) × 1



㉖ マジックテープ小
(かたい方) × 2



㉗ 六角レンチ × 1

接続・取り付け部品を確認する

つづき

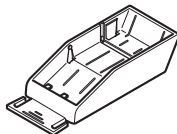
リモコン関係



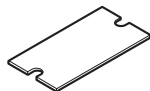
⑳ リモコン × 1



㉑ 単4形アルカリ
乾電池 (LR03) × 2

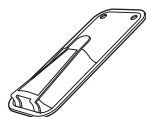


㉒ リモコン
ホルダー × 1

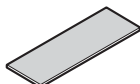


㉓ 両面テープ
(57 × 34 mm) × 1

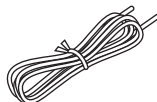
携帯電話関係



㉔ ソフトケース × 1



㉕ マジックテープ
(やわらかい方) × 1

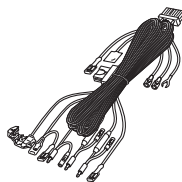


㉖ ひも (2 m) × 1



㉗ クリップ × 1

コード関係



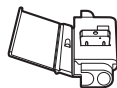
㉘ 電源コード × 1



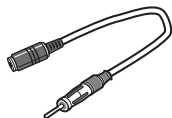
㉙ RCAビデオコード
(黄) (5 m) × 1



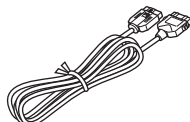
㉚ ピンクリード線
延長コード (5 m)
× 1



㉛ Uエレメント
コネクター × 1



㉜ ミニプラグ
JASOプラグ変換
ケーブル × 1

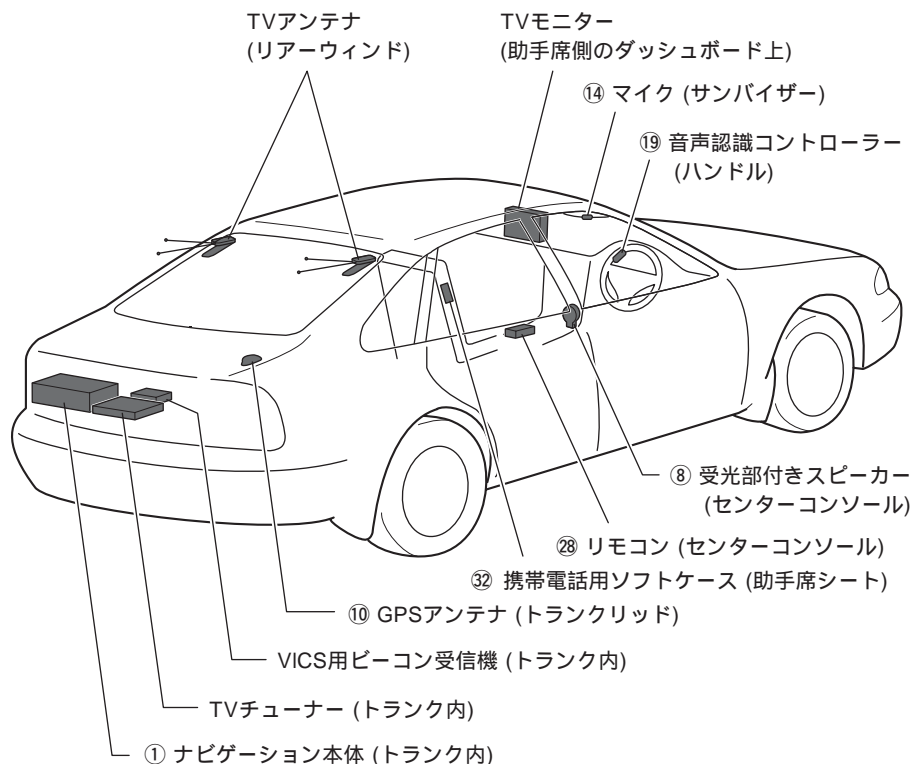


㉝ 携帯電話接続
ケーブル × 1

配置例

下図は、別売製品を組み合わせたときのシステム全体の配置例です。(数字が付いている製品が本機の構成です。)

実際は、組み合わせた製品とご自分のお車に合わせて、製品を配置してください。



メモ

配置場所によっては、別売の延長ケーブルや取付キットが必要になることがあります。

本機と他のナビゲーションシステム (GPS受信機) を同時に使用すると、本機のGPS受信性能に悪影響が出る場合があります。同時に使用しないでください。

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

本機は、EIAJコードカラーに対応する変更を行いました。対応に伴い、本機ではEIAJコードカラーの他に次のコードカラーも変更されています。

オートアンテナリモート：青 青/黒

ビーコンコントロール：青 青/白

バック信号入力：紫 紫/白

本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。

青/黄リード線（パーキングブレーキスイッチ）は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと一部の機能が使用できなくなります。

本機は、エンジンスイッチにACCポジションがない車では使用できません。絶対に取り付けしないでください。取り付けると、バッテリー上がりの原因になります。

接続のポイント

本機と組み合わせるTVモニターについて

他社のモニターやCRT（ブラウン管）モニターはおすすめできません。画面横の表示が欠けたり、ノイズが出ることがあります。また5インチ未満のモニターでは、地図の解像度が悪くなります。

必ずワイド画面のモニターと組み合わせてください。ナビゲーションの映像は、ワイド画面専用になっています。縦横比が4：3のモニターと組み合わせると画面の両端が圧縮され、違和感ある映像になります。

他社のモニターには、ビデオ入力端子の形状やビデオ入力信号の仕様（入力レベルなど）が、本機と異なるものがあります。そのようなモニターと組み合わせる場合は変換コードが必要になりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

接続するTVモニターによって画面がぼやけたように感じられる場合は、[TV走査方式]の[インターレース][ノンインターレース]の切り換えを見やすい方にセットください。なお、[TV走査方式]はメインメニューの[その他の操作][設定を変える][その他の初期設定]の中にあります。

電源配線キットを別売しています

システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

20ピンRGBおよび専用バスの接続について

20ピンRGBおよび専用バスの端子とケーブルは、同じ色どうしを接続してください。（コネクタの接続部分が色分けされています。）違う色のコネクタを接続すると、正常に動作しないことがあります。

ピンクリード線の接続について

ピンクリード線（車速信号入力）は、内蔵の3Dハイブリッドセンサー用のリード線です。必ず接続してください。

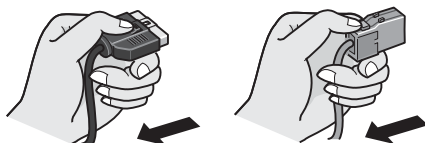
ピンクリード線を接続しない場合は、簡易ハイブリッド方式で動作し、誤差が大きくなる場合があります。（※『ナビゲーションブック』付録の「ナビゲーションのしくみ」）

ピンクリード線を車の車速検出回路に接続するのが困難な場合は、車速パルス発生機「ND-PG1」（別売）をお使いください。

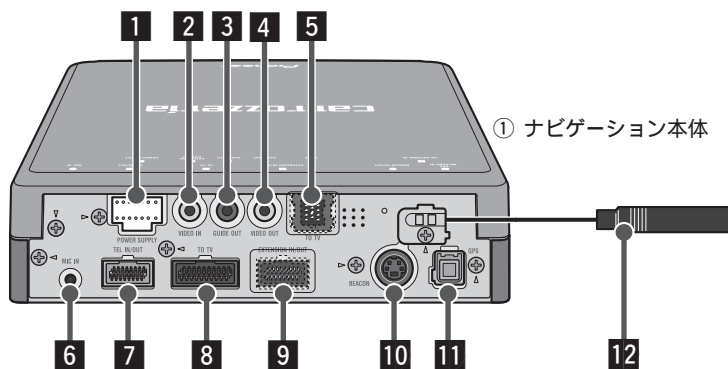
コネクターの着脱のしかた

コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクタどちらの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。

コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



接続端子のなまえと働き



1 電源

付属の電源コードを使用して、車のバッテリーから電源をもらいます。

2 RCA拡張ビデオ入力 (黄)

使用しません。何も接続しないでください。

3 RCAガイド音声出力 (黒)

ナビゲーションのガイド音声が出力されます。組み合わせたカーステレオにガイド音声入力 (黒) がある場合で、ナビゲーションのガイド音声を、カーステレオのスピーカーからも出力したいときに、カーステレオのガイド音声入力 (黒) に接続します。

4 RCAビデオ出力 (黄)

NTSC方式の映像信号が出力されます。付属のRCAビデオコードを使用して、組み合わせるTVモニターのビデオ入力端子と接続します。それ以外は何も接続しないでください。

5 専用バス出力 (黒)

P side P 8.0型ワイド液晶TVバック「TV-W808」、TV-W818」、7型ワイドAVシステムTV「AVX-P707W」と組み合わせたときに、シールをはがして専用バス入力 (青) と接続します。

6 マイク入力端子 (黒)

付属のマイクを接続します。

7 電話端子 (赤)

付属の携帯電話接続ケーブルを使用して、デジタル携帯電話を接続します。

8 20ピンRGB出力 (黒)

RGB方式の映像信号やガイド音声などが出力されます。TVチューナーのRGB入力または付属の受光部付きスピーカーを接続します。

9 拡張入出力端子 (黒)

使用しません。何も接続しないでください。

10 ビーコン受信機接続端子

VICS用ビーコン受信機「ND-B3」を接続します。

11 GPSアンテナ接続端子 (緑)

付属のGPSアンテナを接続します。

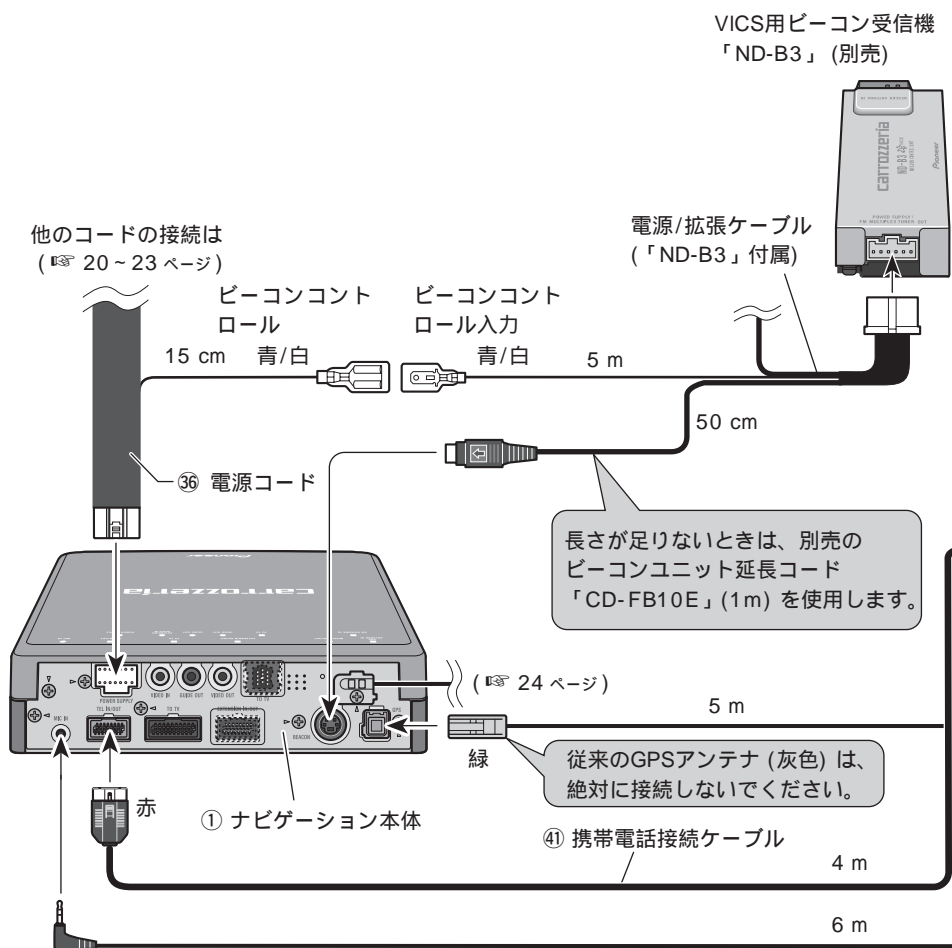
従来製品 (AVIC-D919など) に付属のGPSアンテナ (灰色) とは互換性がありません。絶対に接続しないでください。

12 VICS/FM多重アンテナ接続端子

VICS/FM多重放送を受信するためのアンテナを接続します。専用のアンテナを接続する方法、車載のアンテナを接続する方法、TVアンテナを接続する方法の、3つの接続方法があります。(☞ 24ページ)

システムの接続

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください





デジタル携帯電話
(デジタルホン「DP-212」
(別売) などの9600bpsの
通信に対応したもの。)



⑩ GPSアンテナ



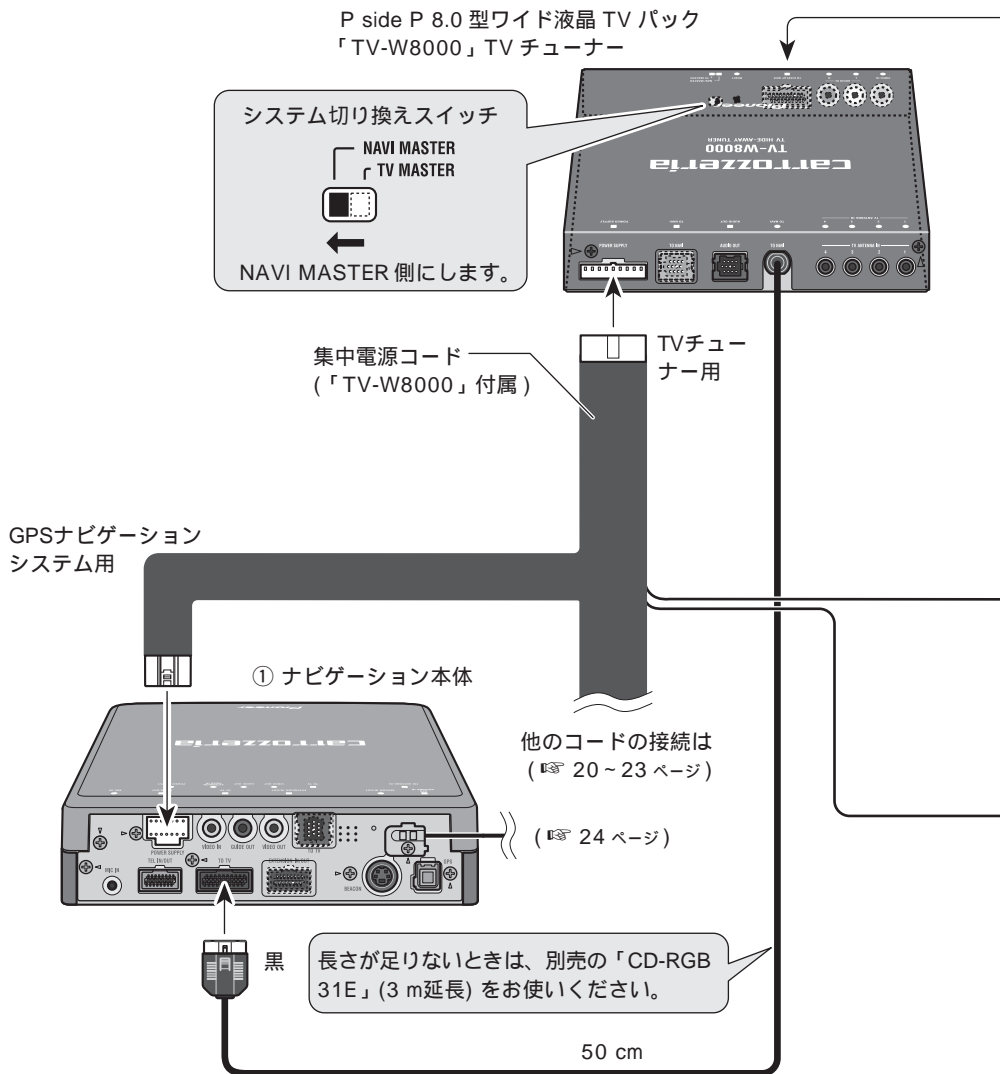
長さが足りないときは、別売の「RD-G32」
(3 m延長) をお使いください。

⑭ マイク

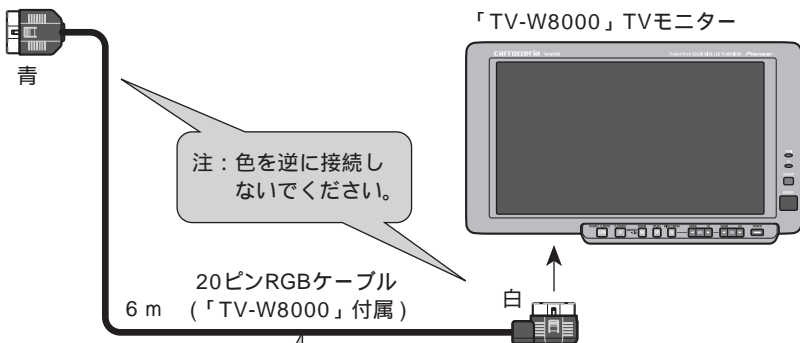


TVモニターの接続 (1)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



「TV-W8000」と組み合わせた場合



注：必ず「TV-W8000」に付属のケーブルを使用してください。コネクタの色が違うケーブルは使用できません。(長さが足りないときは、別売の「CD-RGB31E」(3 m延長)をお使いください。)

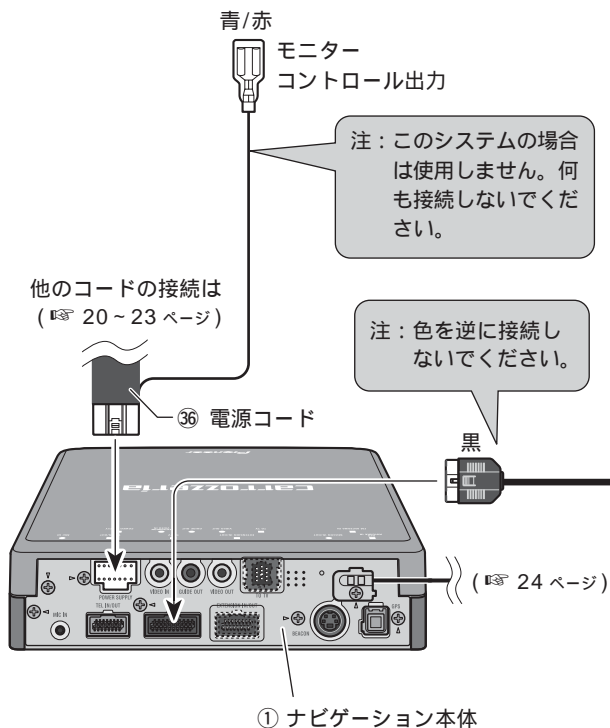
青/橙 拡張ユニット用モニター
コントロール入力

注：このシステムの場合は使用しません。
何も接続しないでください。

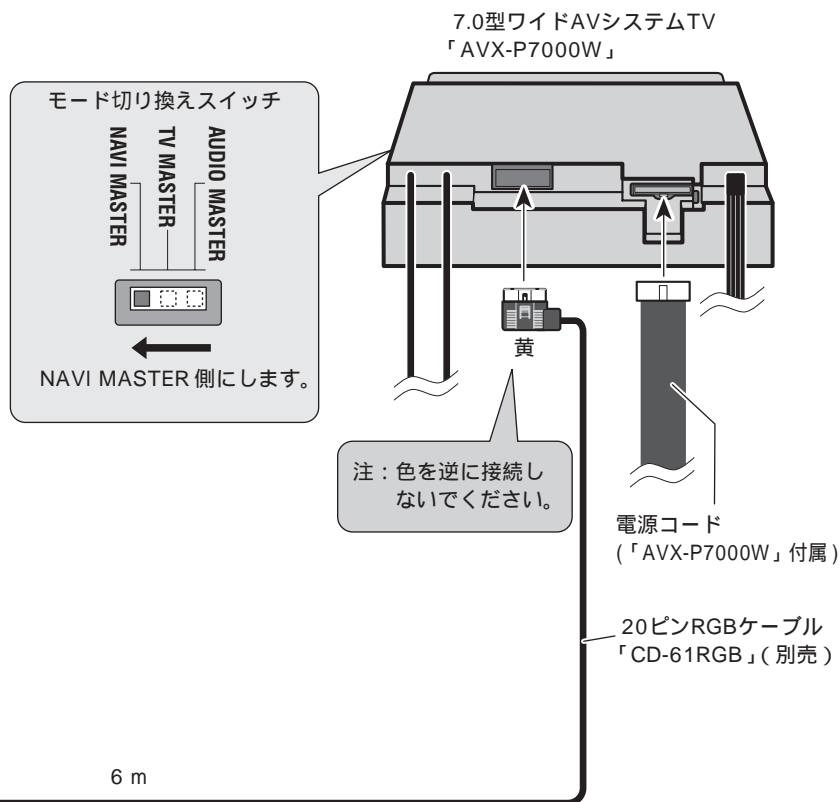
青/赤 外部ユニットコントロール

TVモニターの接続 (2)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

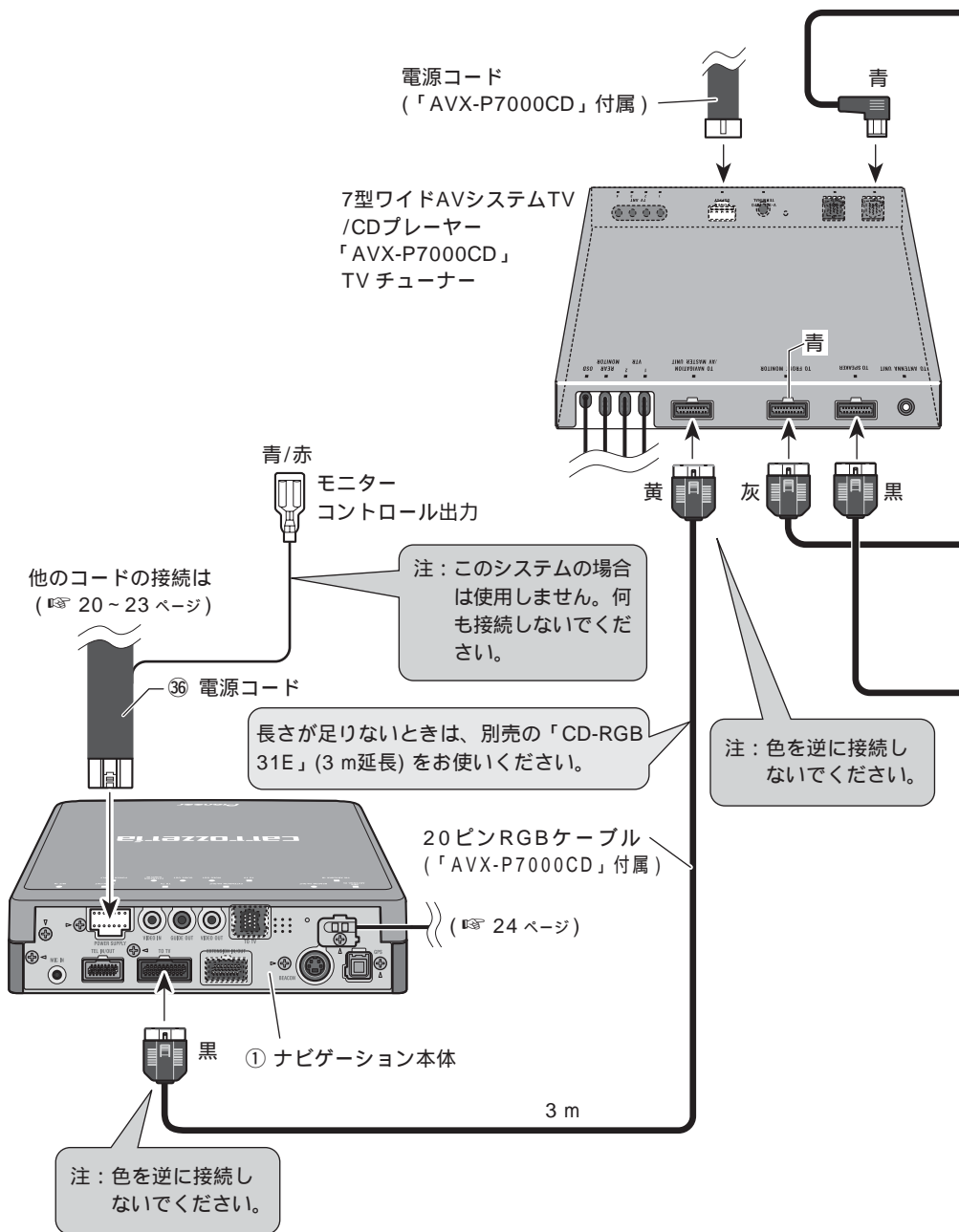


「AVX-P7000W」と組み合わせた場合

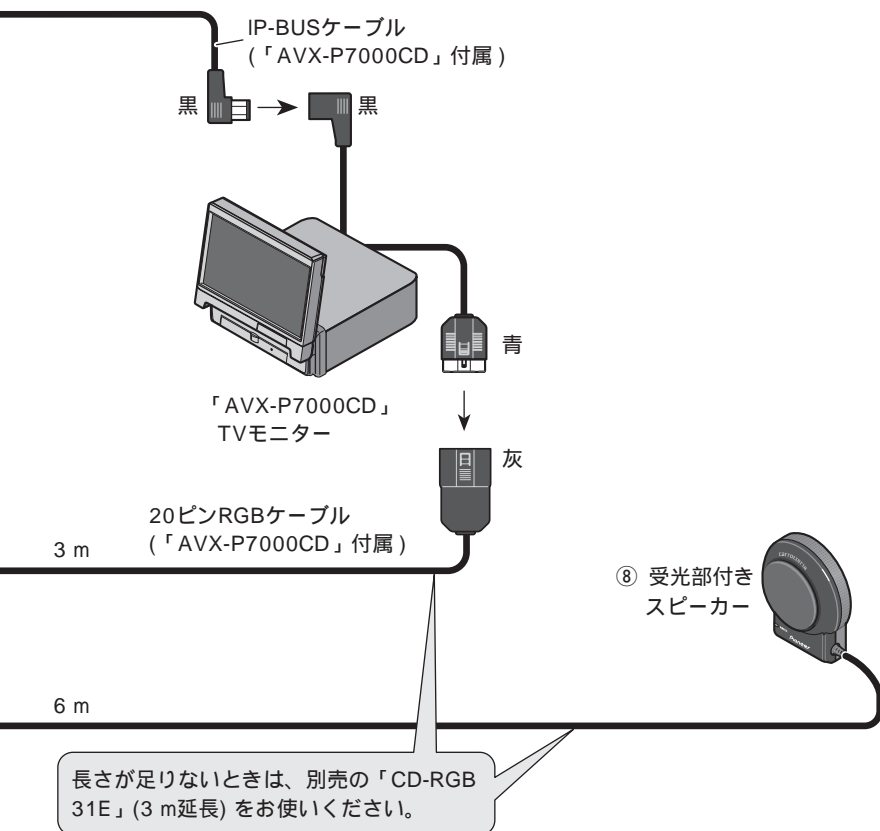


TVモニターの接続 (3)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

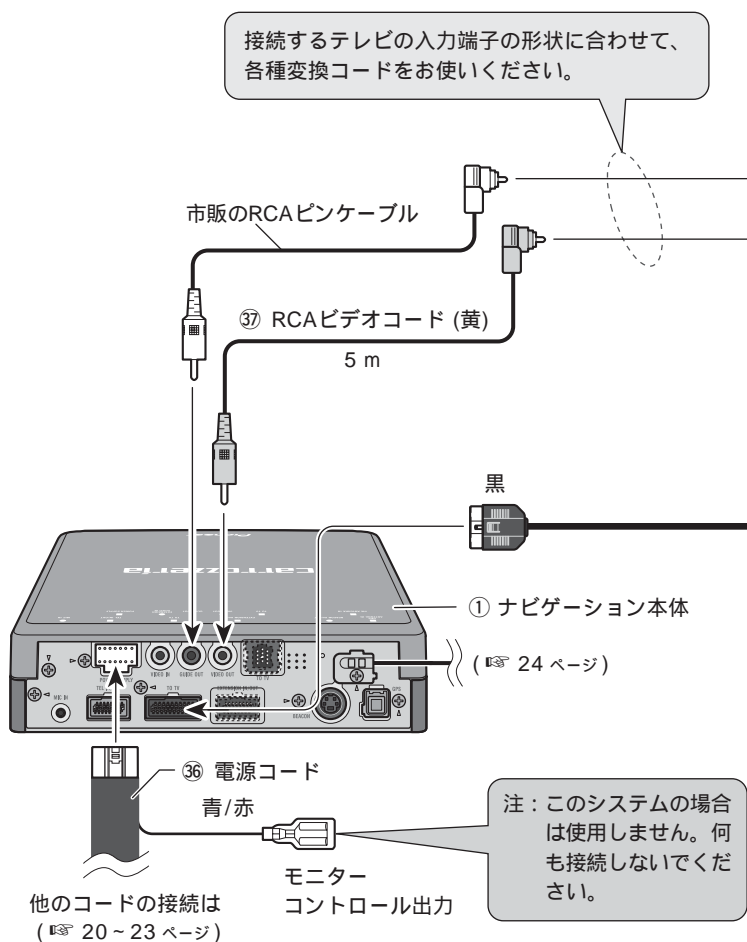


「AVX-P7000CD」と組み合わせた場合



TVモニターの接続 (4)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



他社のモニターと組み合わせた場合

ワイドTVのご注意

必ずワイド画面のモニターと組み合わせてください。ナビゲーションの映像は、ワイド画面専用になっています。縦横比が4:3のモニターと組み合わせると画面の左右が圧縮され、違和感ある映像になります。

ワイドモードは[フル] (全画面均等引きのばし) にしてください。その他のモードではナビゲーションの映像が欠けてしまったり、歪んだりすることがあります。

市販のカーテレビ

音声入力へ

映像入力へ



⑧ 受光部付き
スピーカー



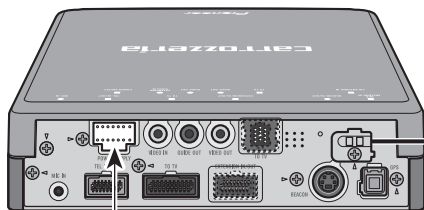
6 m

長さが足りないときは、別売の「CD-RGB 31E」(3 m延長)をお使いください。

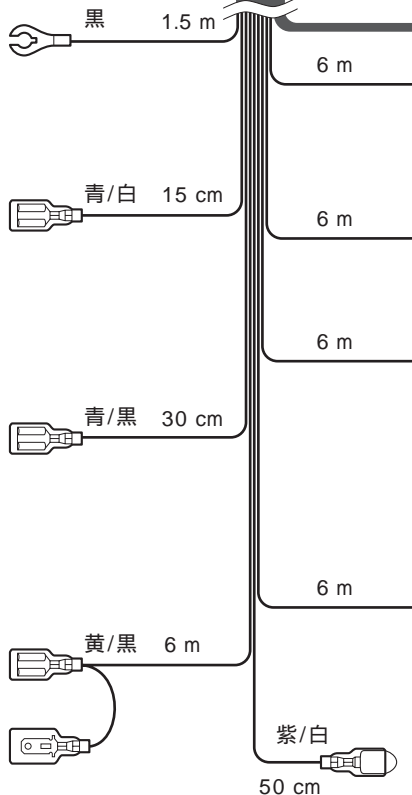
電源コードの接続 (1)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

① ナビゲーション本体



③⑥ 電源コード



アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。ノイズ防止のため、できるだけナビゲーション本体の近くに接続してください。

ビーコンコントロール

VICS用ビーコン受信機「ND-B3」(別売)と組み合わせるときに、「ND-B3」の青/白リード線(ビーコンコントロール入力)に接続してください。それ以外は何も接続しないでください。

オートアンテナリモートコントロール

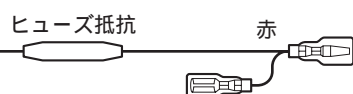
FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」(別売)を使用して車載のアンテナを接続するとき、「RD-FD20」の青/黒リード線(オートアンテナリモートコントロール)に接続してください。

ミュート

パイオニア製のカーステレオと組み合わせるときに、カーステレオに黄/黒リード線(ミュート)がある場合、そこに接続してください。それ以外は何も接続しないでください。ガイド音声が出力されるときや音声で操作するとき、ハンズフリー通話をするときに、カーステレオにオーディオミュートがかかり音量が小さくなります。(オーディオミュートをかける条件は変更することができます。詳しくは「ナビゲーションブック」)

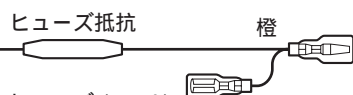
)) (24 ページ)

他のコードの接続は (22 ページ)



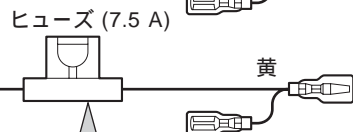
アクセサリ電源

車のエンジンスイッチをACCポジションにしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。エンジンスイッチにACCポジションがない車には絶対に取り付けしないでください。バッテリー上がりの原因になります。



イルミ電源

車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路 (時計の照明回路やスモールランプ回路など) に接続してください。



+ バッテリー電源

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

注：赤、黄、橙リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。



モニターコントロール出力

パイオニア製のTVモニターのON/OFFをコントロールするために使用します。(本機がONになるとコントロール信号が出力されます。) 組み合わせる製品によって、接続のしかたが変わります。詳しくは組み合わせる製品の説明書をご覧ください。

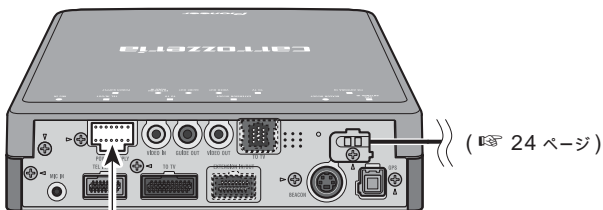
ND-PG1 接続時のみ使用 バック信号入力

車速パルス発生機「ND-PG1」(別売) を接続した場合は、内蔵のセンサーが前進/後退を判断することができなくなります。この場合は「ND-PG1」に付属の紫/白リード線延長コードを使用してバックランプの+側リード線に必ず接続してください。それ以外は何も接続しないでください。通常は、内蔵のセンサーにより車の前進/後退を判断することができますので、何も接続する必要はありません。(何も接続しないときはキャップをはずさないでください。) 詳しい接続方法は、「ND-PG1」の追加説明書をご覧ください。

電源コードの接続 (2)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

① ナビゲーション本体



③⑥ 電源コード

他のコードの接続は
(参照 20ページ)

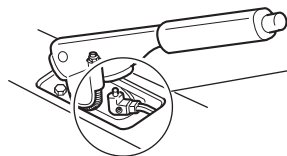
15 cm

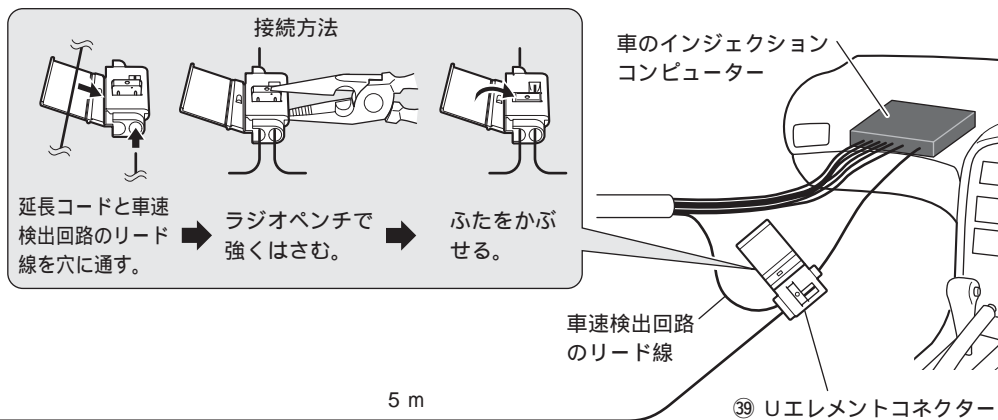


車速信号入力

車の走った距離を検出するために使用します。必ず車の車速検出回路に接続してください。(車の車速検出回路への接続が困難な場合は、車速パルス発生機「ND-PG1」(別売)を接続することもできます。)

6 m



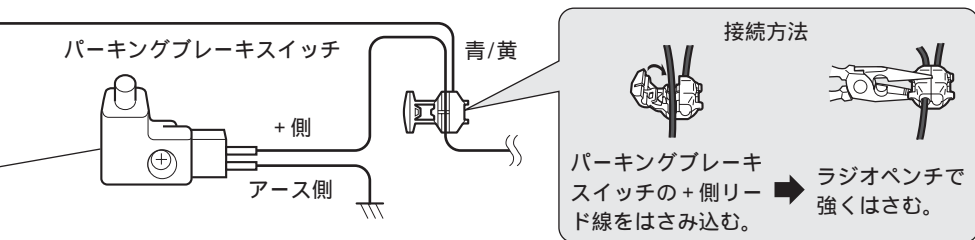


③⑧ ピンクリード線延長コード

インジェクションコンピューターの車速検出回路や、パーキングブレーキスイッチの位置は、車種によって異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

パーキングブレーキスイッチ

車が停車していることを確認するために使用します。必ずパーキングブレーキスイッチの+側リード線に接続してください。



VICS/FM多重アンテナの接続

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

接続のポイントと接続上のご注意

電波の弱い地域では、FM多重用には、専用のアンテナ「AN-8」(別売)または「AN-F10」(別売)を接続するか、FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」(別売)を使用して車載のアンテナを接続してください。

首都圏中心部ではFM多重放送の送信出力が高く、4素子のダイバーシティTVアンテナを組み合わせた場合に、TVアンテナの1素子をFM多重用として使用できる場合があります。その他の地域では送信出力が低いため、TVアンテナでは十分な感度を得られません。

電波の弱い地域で、4素子のダイバーシティTVアンテナの1素子をFM多重用として使用すると、FM多重放送やテレビを感度良く受信できない場合があります。

車載のアンテナがガラスアンテナの場合には、車載のアンテナでは十分な受信感度が得られないことがあります。できるだけ専用のアンテナを接続することをおすすめします。

別売のTVアンテナ「AN-G1」、「AN-G2」、「AN-G3」は、FM多重用には使用できません。接続しないでください。

ノイズ防止のため、FM多重アンテナのアンテナコードおよびTVアンテナのアンテナコードは、ナビゲーション本体および他のコード類(電源コードやモニター接続ケーブルなど)からできるだけ離して配線してください。束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。

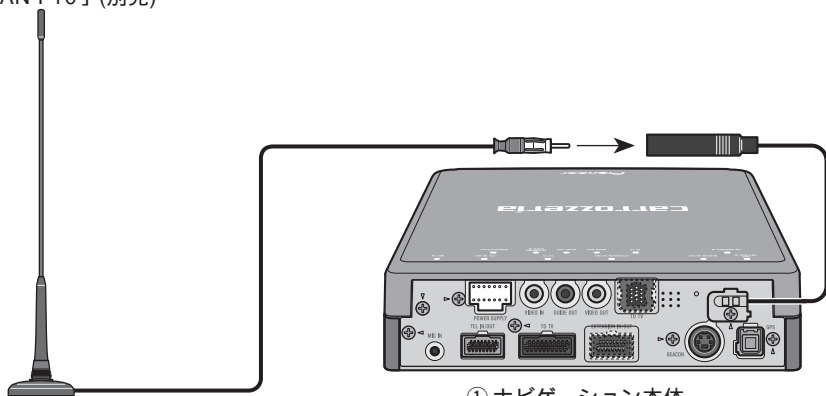
アンテナコードにノイズが飛び込むと、FM多重放送やテレビの受信感度が悪くなります。

専用のアンテナを接続する方法

専用のアンテナ「AN-8」(別売)または「AN-F10」(別売)を接続します。

注：別売のTVアンテナ「AN-G1」、「AN-G2」、「AN-G3」は使用できません。接続しないでください。

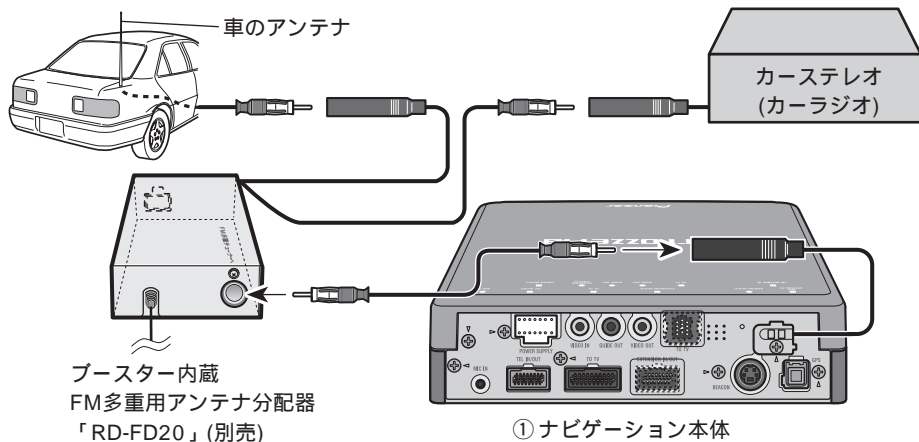
FM多重用アンテナ
「AN-F10」(別売)



① ナビゲーション本体

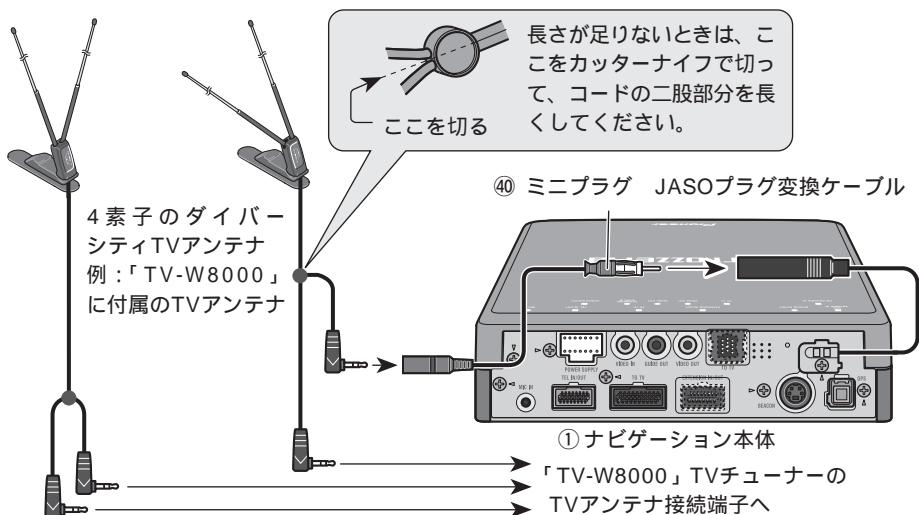
車載のアンテナを接続する方法

ブースター内蔵FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」(別売)を使用して車載のアンテナを接続します。



TVアンテナを接続する方法

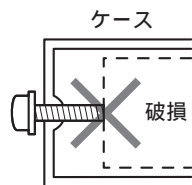
電波の強い地域で、4素子のダイバーシティTVアンテナを組み合わせた場合は、TVアンテナの1素子を接続することもできます。



取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

必ず付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

粘着テープを貼り付ける前に

マジックテープや両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。

ノイズ防止のために

ナビゲーション本体およびGPSアンテナは、TVアンテナ、FM/AMアンテナおよびそのアンテナコードからできるだけ離して取り付けてください。

GPSアンテナやGPSアンテナのアンテナコードからナビゲーション本体にノイズが飛び込むと、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

ナビゲーション本体の取り付けについて

2つの取り付け方法があります

トランク内の床に取り付ける方法

粘着テープで固定するため、車を加工することなく取り付けることができますが、取り付け強度はトランク内の取付ボードに取り付ける方法に比べると弱くなります。

トランク内の取付ボードに取り付ける方法

トランク内に設置した取付ボードに穴を開けて、ネジで取り付けます。しっかりと固定することができます。

TVチューナーと重ねて取り付けられます

本機に付属の取付アングルで、P side P 8.0型液晶TVパック「TV-W8000」(別売)のTVチューナーと重ねて取り付けられます。

ナビゲーション本体の取り付け

取り付け上のご注意

次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障する恐れがあります。

- * ダッシュボードやリアートレイの上のように、直射日光の当たる場所。
- * ヒーターの吹き出し口の近く。

ドア近くの雨水がかかりやすい場所には取り付けしないでください。

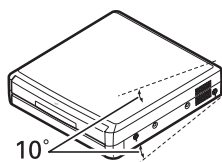
しっかりと固定できる場所を選んで取り付けてください。しっかりと固定されていないと、現在地を正しく表示できなくなります。

スペアタイヤボードなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けしないでください。

荷物などが当たる場所には取り付けしないでください。強い衝撃が加わると、現在地を正しく表示できなくなります。

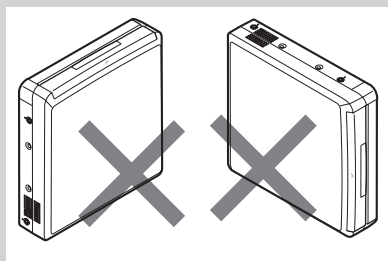
スペアタイヤ、ジャッキ、工具などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けてください。また、DVD-ROMディスクおよびPCカードが出し入れできることを確認してください。

上下の傾きは、水平に対して、10度以内の角度で取り付けてください。角度が大きくなると、現在地を正しく表示できなくなります。

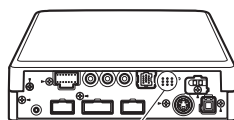


ナビゲーション本体を設置する床面の下部に、マフラー等の高温になるものがあり、床面が熱くなるような場合、保護回路が働き動作停止することがあります。このような場所には取り付けしないでください。

縦置きしないでください。故障の原因となります。また、裏返して取り付けしないでください。

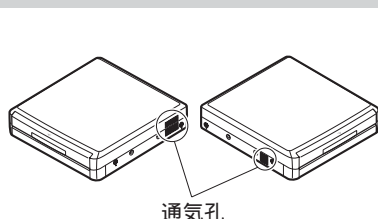


ナビゲーション本体には音声認識用のノイズマイク（車内の雑音を検知するマイク）が内蔵されています。ノイズマイクの内蔵部分にカーペットなどをかぶせないでください。ノイズマイクの働きが悪くなります。



ノイズマイク

内部の温度上昇を防ぐため、本体側面に通気孔が開けてあります。この通気孔を塞がないでください。



通気孔

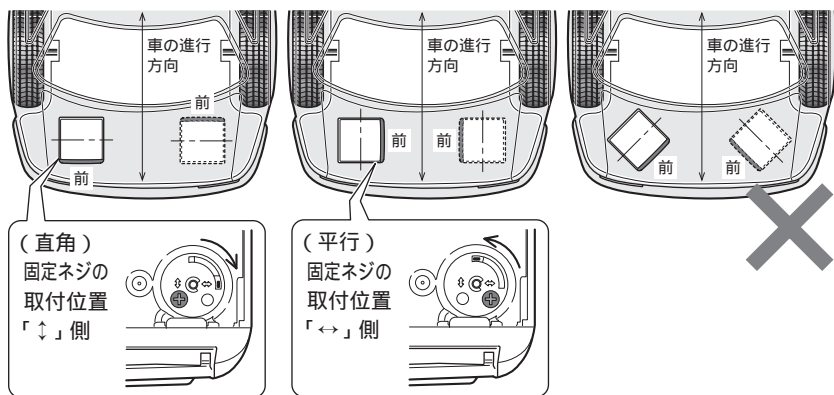
ナビゲーション本体の取り付け

つづき

取り付ける向きについてのご注意

ナビゲーション本体の左右が、車の進行方向に対して直角または平行になるように取り付けてください。斜めには取り付けしないでください。車の進行方向に対して斜めに取り付けると、現在地を正しく表示できなくなります。

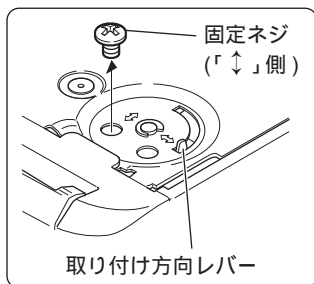
ナビゲーション本体の左右を、車の進行方向に対して平行に取り付けるときは、内蔵のGセンサーを正しく動作させるため、必ず本体底面の取り付け方向レバーを切り換え、固定ネジを「↔」側に切り換え、固定ネジを「↔」側に取り付けてください。



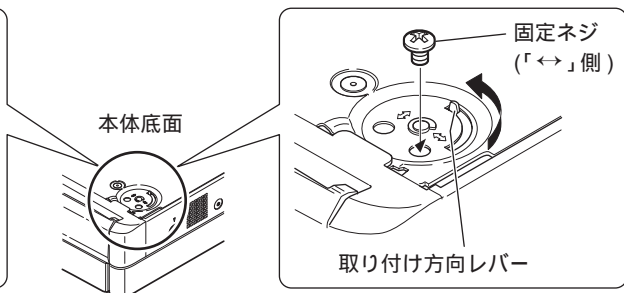
ナビゲーション本体の左右を、車の進行方向に対して平行に取り付けるときは

ナビゲーション本体の左右を、車の進行方向に対して平行に取り付けるときは、本体底面の固定ネジを取り外して取り付け方向レバーを切り換え、固定ネジを「↑」側から「↔」側に取り付けなおしてください。「↑」側に取り付けたままだと、内蔵のGセンサーが正しく動作しません。

1 取り付け方向レバーの固定ネジを取り外す



2 レバーを切り換え、固定ネジを「↔」側に締める



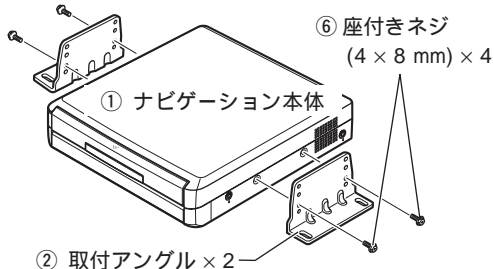
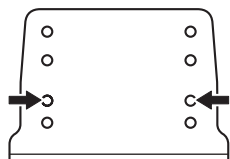
取付アングルを取り付ける

取付アングルをナビゲーション本体に取り付ける

ナビゲーション本体を車に取り付けるために、取付アングルをナビゲーション本体に取り付けます。

ナビゲーション本体だけで取り付ける場合

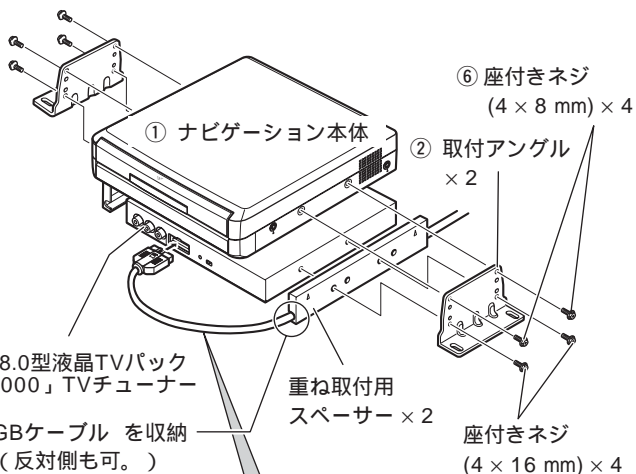
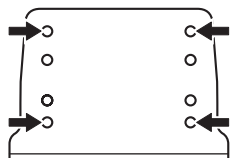
取付アングルの次の穴を使用します。



TVチューナーと重ねて取り付ける場合

P side P 8.0型液晶TVパック「TV-W8000」(別売)のTVチューナーと重ねて取り付けることができます。

取付アングルの次の穴を使用します。



P side P 8.0型液晶TVパック
「TV-W8000」TVチューナー

20ピンRGBケーブルを収納
します。(反対側も可。)

重ね取付用
スペーサー × 2

⑥ 座付きネジ
(4 × 8 mm) × 4

② 取付アングル
× 2

座付きネジ
(4 × 16 mm) × 4

注：コネクタ部に無理な力がかけられないように、コードはたるませてください。

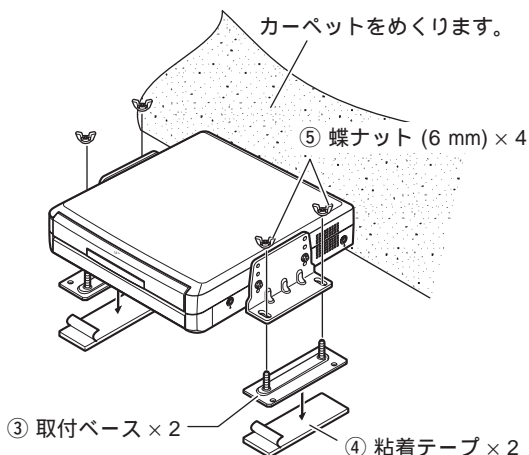
(「TV-W8000」に付属)

ナビゲーション本体の取り付け

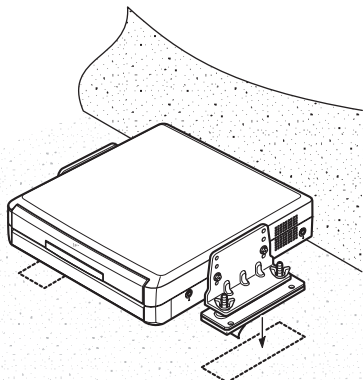
つづき

トランク内の床に取り付ける場合

1 取付アングルに取付ベースを取り付ける

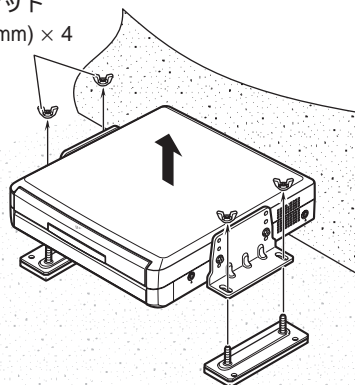


2 取り付け位置を決め、粘着テープを貼る

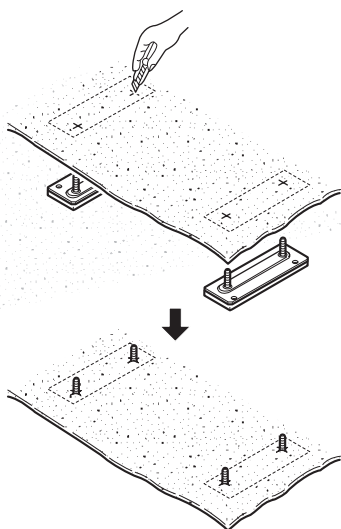


3 蝶ナットを外し、本体を一度取り外す

⑤ 蝶ナット
(6 mm) × 4

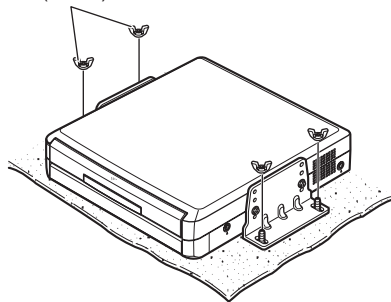


4 カーペットを元に戻し、ネジ部をカーペットの上に出す



5 本体を取り付け、しっかり固定する

⑤ 蝶ナット
(6 mm) × 4



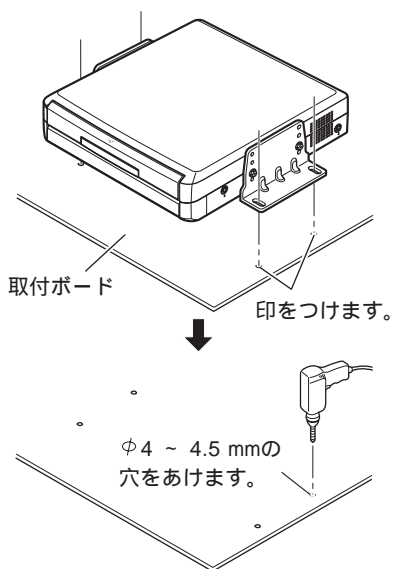
取り付けかた

ナビゲーション本体の取り付け

つづき

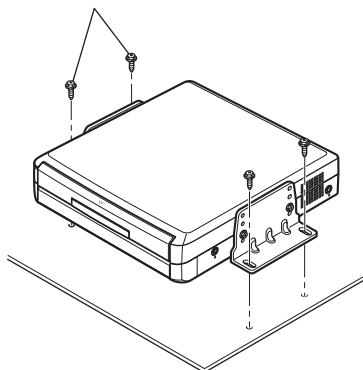
トランク内の取付ボードに取り付ける場合

- 1** 取り付け位置を決め、
穴を開ける



- 2** タッピングネジで、
しっかり固定する

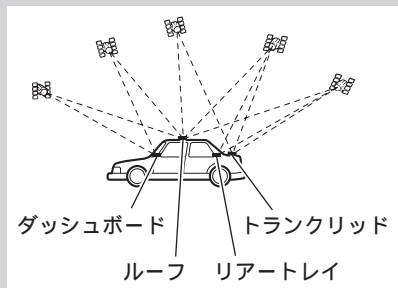
⑦ タッピングネジ (6 × 16 mm) × 4



GPSアンテナの取り付け

取り付け上のご注意

GPSアンテナは、GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所に水平に取り付けてください。(どの方向からも電波が受信できるように、できるだけ車外のルーフやトランクリッドに取り付けてください。)



GPSアンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。

GPSアンテナを車内に取り付ける場合は、必ず付属の金属シートを使用してください。使用しないと、十分な受信感度が得られなくなります。

付属の金属シートは、切って小さくしないでください。十分な受信感度が得られなくなります。

GPSアンテナは、ナビゲーション本体から30cm以上離して設置してください。また、あまったGPSアンテナコードをまとめて置くときも、ナビゲーション本体から30cm以上離して置いてください。近くに設置すると、受信感度が低下してしまいます。

GPSアンテナを取り外すときは、アンテナコードを引っ張らないでください。アンテナに付いている磁石が強力なため、コードが抜けてしまうことがあります。

GPSアンテナは磁石で取り付けます。アンテナを車のボディに取り付ける場合は、ボディを傷つけないように慎重に取り付けてください。

GPSアンテナを車外に取り付けた場合、自動洗車機で洗車するときは、アンテナを取り外して車内にしまってください。アンテナが外れて車のボディを傷つけることがあります。

車内(ダッシュボードやリアートレイの上)に取り付ける場合

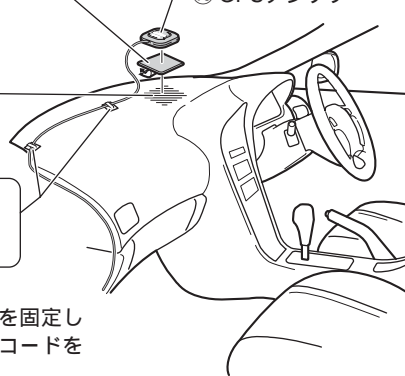
なるべく水平な場所、またはアンテナがウィンドの外に向く場所に金属シートを貼り付け、GPSアンテナを金属シートの上に置きます。(GPSアンテナの磁石で固定されます。)

① 金属シート

必ず使用してください。裏面の保護シートをはがして貼り付けます。

金属シートを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。

⑩ GPSアンテナ



メモ

車のウィンドガラスの一部に、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けたときに、GPS衛星からの電波を受信しにくい場合は、一度アンテナを車外に取り付けてみてください。



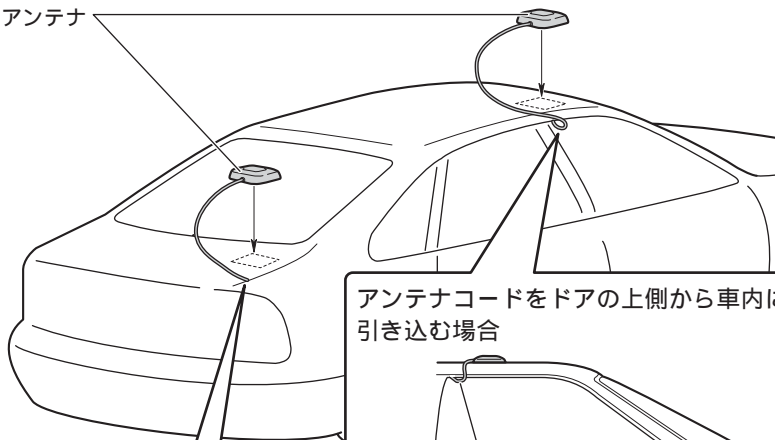
⑫ クランパー×5

クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

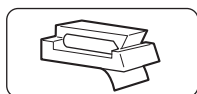
車外 (車のボディ) に取り付ける場合

車のルーフやトランクリッドの、なるべく水平な場所にGPSアンテナを置きます。(GPSアンテナの磁石で固定されます。)

⑩ GPSアンテナ

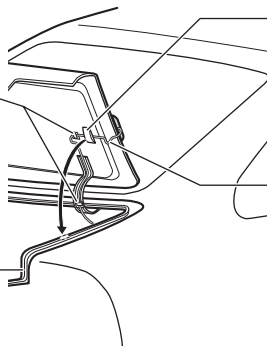


アンテナコードをトランク内に引き込む場合



⑫ クランパー×5
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

ゴムパッキング



⑬ 防水パッド
トランクを閉めたとき、ゴムパッキングの上に防水パッドが水平に当たるようにします。

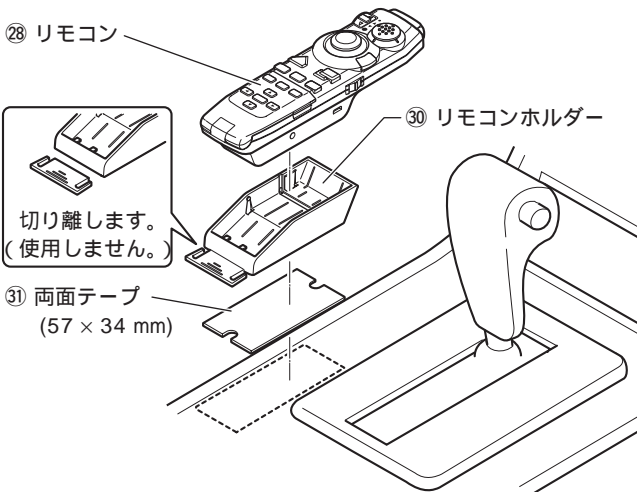
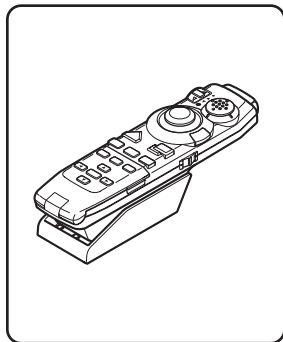
雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードをゴムパッキングの外側でU字形に曲げます。

リモコンの取り付け

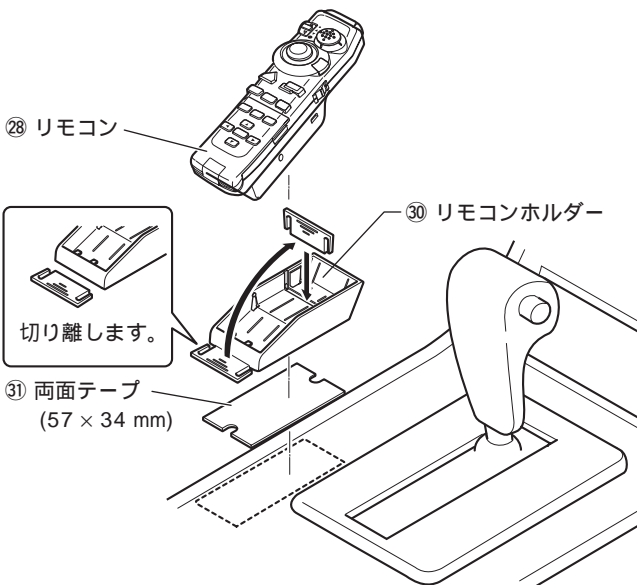
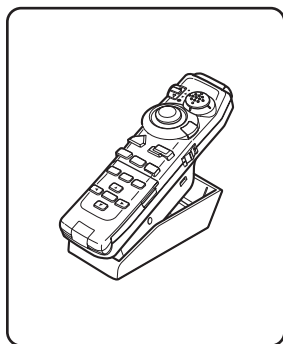
両面テープで取り付ける場合

付属の両面テープ (57 × 34 mm) を使用して、リモコンホルダーを貼り付けます。

水平にセットする場合



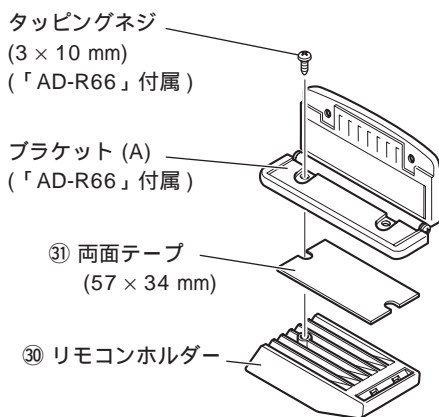
上向きにセットする場合



別売の「AD-R66」を使用して取り付ける場合

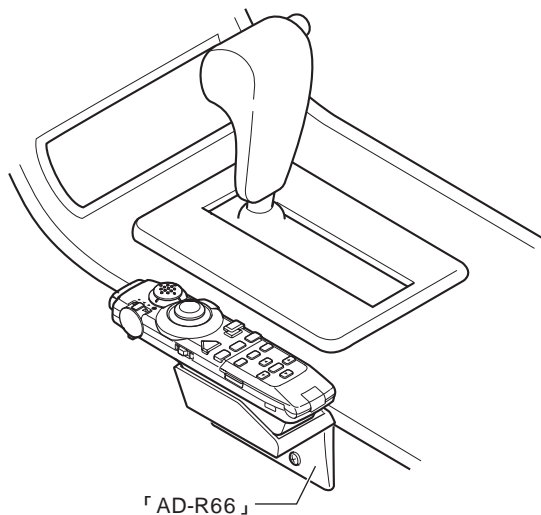
センターコンソールの幅が狭く、センターコンソール上にリモコンの取り付けスペースがない場合は、別売のメインコントローラーアタッチメント「AD-R66」を使用して取り付けます。

1 「AD-R66」に付属のブラケット (A) に リモコンホルダーを取り付ける



2 「AD-R66」を 車に取り付ける

「AD-R66」の『取付説明書』を参照して、車に取り付けます。



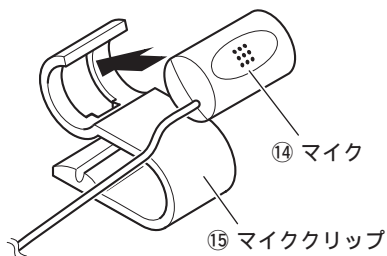
マイクの取り付け

取り付け上のご注意

ハンズフリー時に明瞭な音質を得るために、マイクはできるだけドライバーの近くに取り付けてください。

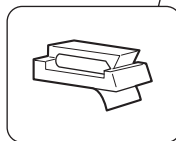
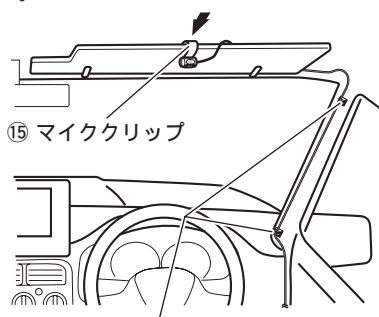
サンバイザーにはさんで取り付ける場合

1 マイククリップにマイクを取り付ける



2 サンバイザーにマイククリップを取り付ける

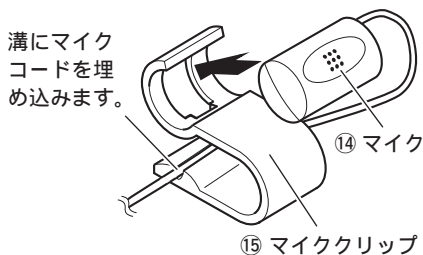
サンバイザーを上げた状態で取り付けます。サンバイザーを下げると、正しく音声認識されません。



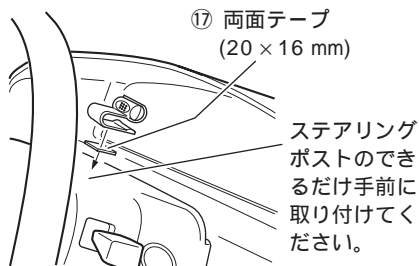
⑱ クランパー×5
クランパーで要所を固定しながら、マイクコードを引き回します。

ステアリングポストに取り付ける場合

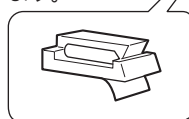
1 マイククリップにマイクを取り付ける



2 ステアリングポストにマイククリップを取り付ける

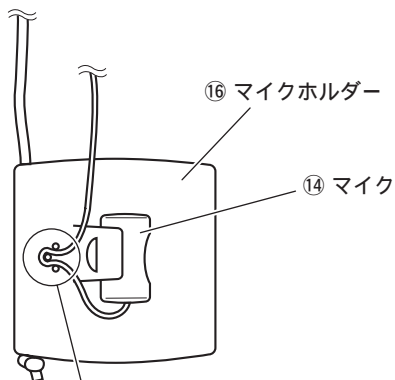


⑱ クランパー×5
クランパーで要所を固定しながら、運転操作に支障がないようにマイクコードを引き回します。



シートベルトに取り付ける場合

1 マイクホルダーに マイクを取り付ける



マイクコードをこのように配線します。

警告

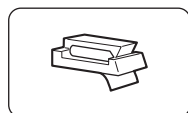
シートベルトに取り付けるときの注意



必ず行う

シートベルトにマイクを取り付けるときは、必ず指定の取り付け方法を守ってください。そうしないとシートベルトが正しく機能しなかったり、コードやひもが首などに巻き付いたりして危険です。また、指定の取り付け方法で取り付けただけでもシートベルトの戻りが悪くなったり異常がある場合は、シートベルトには取り付けないでください。

2 シートベルトにマイクホルダーを 取り付ける



⑱ クランパー × 5
クランパーで要所を
固定しながら、マイ
クコードを引き回し
ます。

ひもは一度金具から外し、シートベルトアンカーを通してから、また金具に止めます。シートベルトを装着するときにマイクが胸元にくるように、ひもの長さを調節してください。

シートベルトアンカー

マイクコード
マイクコードは、ひもが張った状態でも、少したるみができるようにします。

マイクホルダーをシートベルトに取り付けます。

シートベルト

音声認識コントローラーの取り付け

取り付け上のご注意

エアバックなどの車の安全装置が働いたときに、その動作の妨げになる場所には絶対に取り付けしないでください。

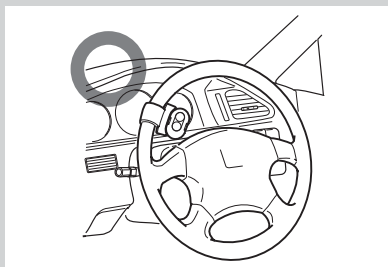
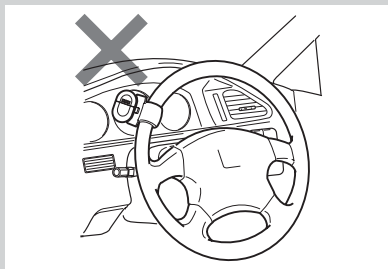
車のメーター類の、視認の妨げになる場所には取り付けしないでください。

取り付ける位置や向きによっては、音声認識コントローラーの信号がリモコン受光部にとどかない場合があります。固定する前に、取り付ける位置で、動作確認を行ってください。(動作しない場合は、コントローラーの上下や裏表を逆にしてみてください。それでも動作しない場合は、取り付け位置を変えてください。)

ハンドルに取り付けるときは、ハンドルの左または右側のリモコン受光部に近い方(右ハンドル車の場合はハンドルの左側、左ハンドル車の場合は右側)に取り付けてください。逆側に取り付けると、音声認識コントローラーの信号がリモコン受光部にとどかないため、動作しないことがあります。

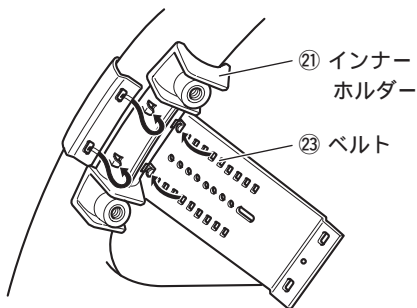
ハンドルに取り付けるときは、付属のベルトでしっかりと固定してください。しっかり固定しないと、運転操作の邪魔になり、交通事故の原因となります。

ハンドルに取り付けるときは、ハンドルの外側に取り付けしないでください。運転操作の邪魔になり、交通事故の原因となります。必ずハンドルの内側に取り付けてください。

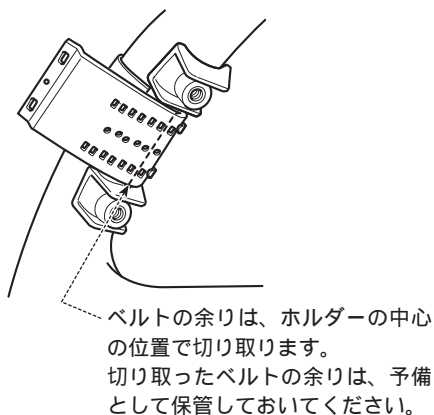


ハンドルに取り付ける場合

1 ハンドルにインナーホルダーを取り付ける



2 ベルトの余りを切り取る

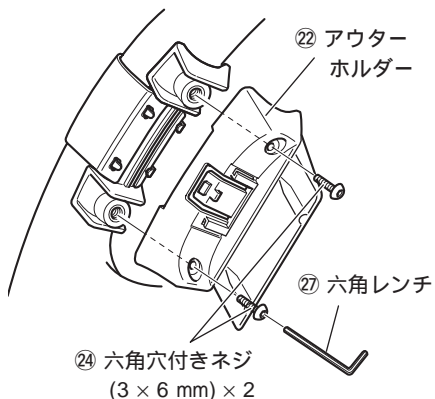


メモ

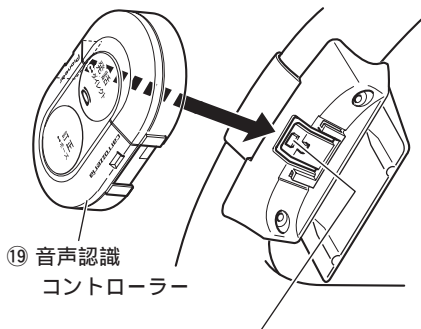
上図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車に取り付ける場合は左右逆に取り付けてください。

ハンドルの太さによっては、切り取ったベルトの余りが、使えない場合があります。

3 インナーホルダーにアウターホルダーを取り付ける



4 音声認識コントローラーを取り付ける



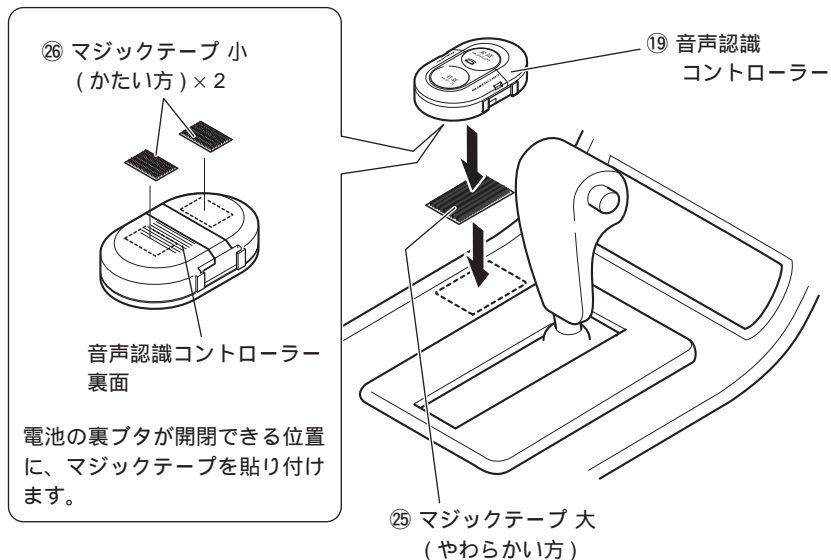
音声認識コントローラーを取り外すときは、ここを押しながら、音声認識コントローラーを手前にスライドさせます。

音声認識コントローラーの取り付け

つづき

マジックテープで取り付ける場合

付属のマジックテープ 小 (かたい方) を音声認識コントローラーの裏面に、マジックテープ 大 (やわらかい方) を取り付け場所に貼り付けます。

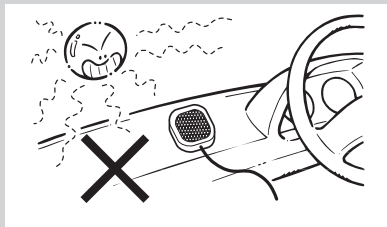


● 受光部付きスピーカーの取り付け

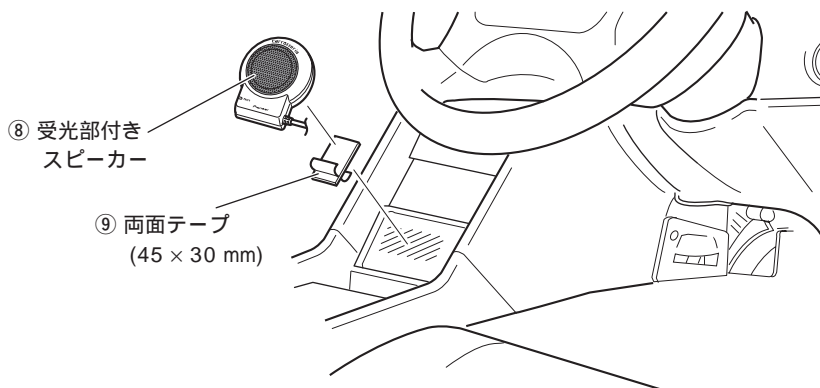
取り付け上のご注意

直射日光の当たるダッシュボードの上には、絶対に取り付けないでください。高温により故障する恐れがあります。

受光部付きスピーカーには、リモコン受光部の働きもあります。リモコンや音声認識コントローラーの信号がとどく範囲内に取り付けてください。



付属の両面テープを受光部付きスピーカーの裏面に貼り付け、センターコンソールに取り付けます。

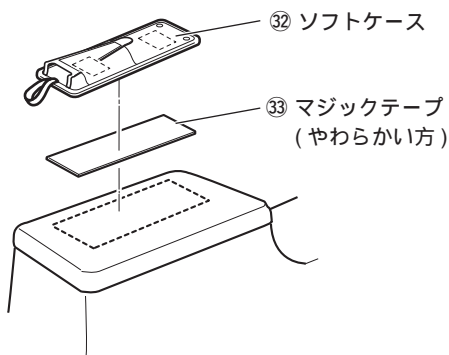


携帯電話用ソフトケースの取り

本機に携帯電話を接続すると、本機のリモコンや音声認識コントローラーとマイクを使って、ハンズフリー通話が可能になります。その際、携帯電話は付属のソフトケースに収納してください。また、携帯電話使用時に携帯電話接続ケーブルがおちないように、ソフトケースのゴムにコネクタ部を通してお使いください。

マジックテープで取り付ける場合

付属のマジックテープ（やわらかい方）を取り付け場所に貼り付け、ソフトケースを裏側のマジックテープ（かたい方）で貼り付けます。



メモ

ソフトケース裏側のマジックテープ（かたい方）が、コンソールボックスやアームレストなどにくっつく場合は、マジックテープ（やわらかい方）は使用せずに直接取り付けることもできます。

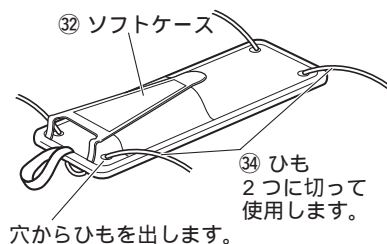
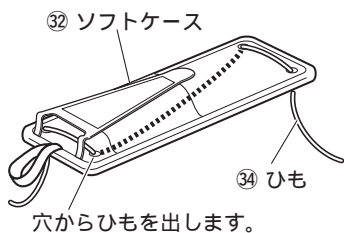
付け

ひもで取り付ける場合



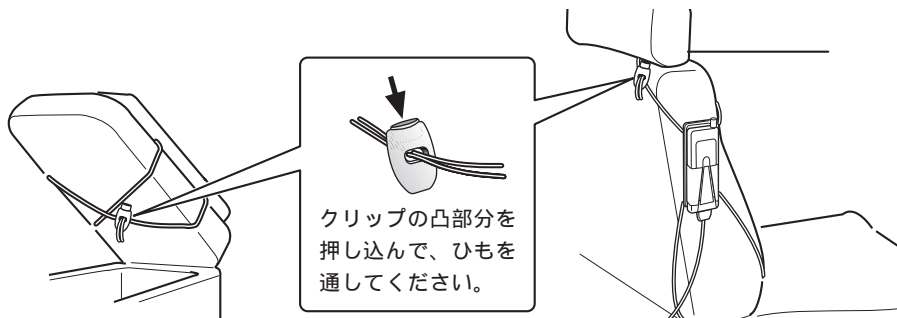
1 ソフトケースに
ひもを通す

1 ソフトケースに
ひもを通す



2 コンソールのフタやアーム
レストにしっかりと締め付ける

2 助手席シートにしっかりと
締め付ける



下側は、シートにひもを
通して結んでください。

取り
付け
かた

接続の確認とセンサーリセット

接続・取り付けが終わったら、本機を動作させ、はじめに接続の確認、3Dハイブリッドセンサーのリセットを行ってください。

ジョイスティックと
決定ボタン

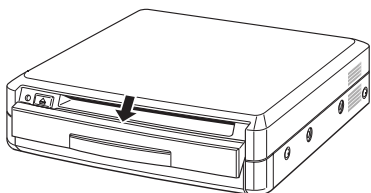


リモコンをお使いになる前に、「スタートブック」の「準備1：リモコンの準備をする」をご覧になり、リモコンの設定スイッチを正しく設定してください。

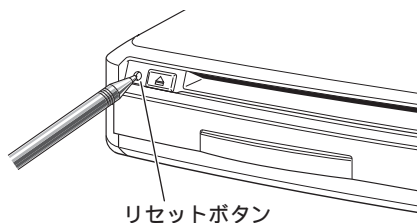
1 車のエンジンを
かける



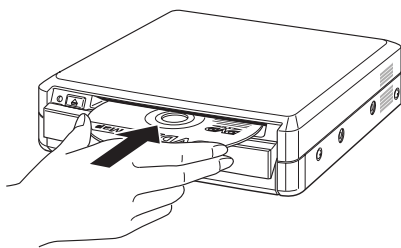
2 フロントドアを
開ける



3 ボールペンの先などで、
本機のリセットボタンを押す



4 ナビゲーション本体に
ディスクをセットする



動作開始までに、一度自動的に電源がON/OFFしますが、故障ではありません。

5 接続を確認して、
センサーリセットを行う

(次ページ)

を行う

接続を確認して、センサーリセットを行う

3Dハイブリッドセンサーが一度もリセットされていないと、次のような画面になります。[接続確認]を選び、決定ボタンを押してください。接続確認画面になりますので、以下の説明を参考にして本機の接続状態を確認します。



確認が終わったら、必ずセンサーリセットを行ってください。
(『スタートブック』22ページ)

接続確認画面の見かた

車速パルス：車速信号入力（ピンクリード線）の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば、車を走行させると“ピッ”と発音音がして、数字とバーが表示されます。数字とバーは本機が測定したパルス数をあらわしています。“ピッ”音とパルス数は速度によって変化します。車速パルスの確認は、低速（時速5 km程度）で行ってください。

GPSアンテナ：GPSアンテナの接続状態を確認できます。正しく接続されていれば[OK]が、未接続の場合には[NG]が表示されます。

GPS感度：GPSアンテナの受信状態を確認できます。電波の受信しやすい見晴らしの良い場所で2本以上バーが表示されていれば良好です。バーが1本以下の場合、GPSアンテナの位置を変えて2本以上バーが表示される位置に取り付けてください。GPSアンテナの取り付け上のご注意（『34ページ』）を参照して、取り付け位置を確認してください。

本体取付位置：ナビゲーション本体の取り付け状態を確認できます。[NG]が表示された場合は、測位の精度が悪くなります。車の振動が少ない位置にしっかりと取り付けて、[OK]が表示されるのを確認してください。

パーキングブレーキ：パーキングブレーキスイッチ（青/黄リード線）の接続状態を確認できます。ブレーキペダルを踏んで、パーキングブレーキをかけ直してください。パーキングブレーキを解除すると[OFF]、かけ直すと[ON]が表示されます。

電圧：車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。エンジンアイドリング時に11～15 Vの範囲にないときは、電源コードの接続状態を再度確認してください。また、表示誤差（±0.5 V程度）があるため、この表示は参考値です。

接続の確認とセンサーリセットを行う

つづき

イルミネーション：イルミ電源（橙リード線）の接続状態を確認できます。車のライトを点灯させてください。ライトを点灯すると [ON]、消すと [OFF] が表示されます。

ビーコンユニット：VICS用ビーコン受信機「ND-B3」（別売）の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば [OK]、未接続の場合には [NG] が表示されます。

バック信号：ND-PG1接続時のみ使用 バック信号入力（紫/白リード線）の接続状態を確認できます。

本機は、内蔵の3Dハイブリッドセンサーにより車の前進/後退を判断することができますので、紫/白リード線は、通常は接続しません。ただし、車速パルス発生機「ND-PG1」を接続した場合は、ND-PG1接続時のみ使用 バック信号入力を必ず接続してください。接続したら、パーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏んでから次の操作を行ってください。シフトレバーをR（リバース）の位置からR（リバース）以外の位置にすると車の絵の向きが左右反転されます。

画面の表示が記載されているようにならなかった場合は、正しく接続されていません。もう一度、接続に間違いがないか目で見て確認してください。